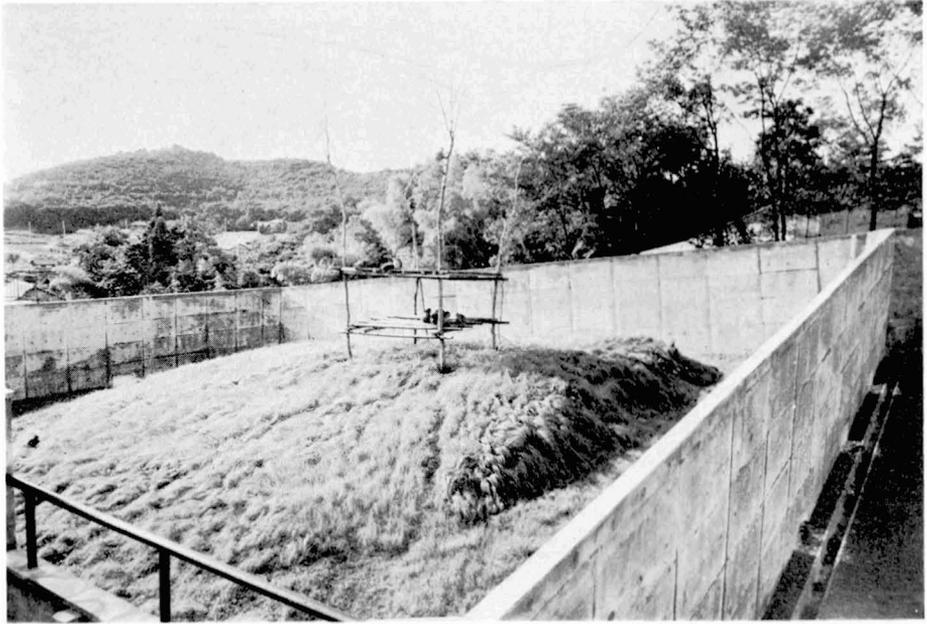

靈長類研究所年報

VOL. 2

1972

ANNUAL REPORTS OF THE
PRIMATE RESEARCH INSTITUTE
KYOTO UNIVERSITY



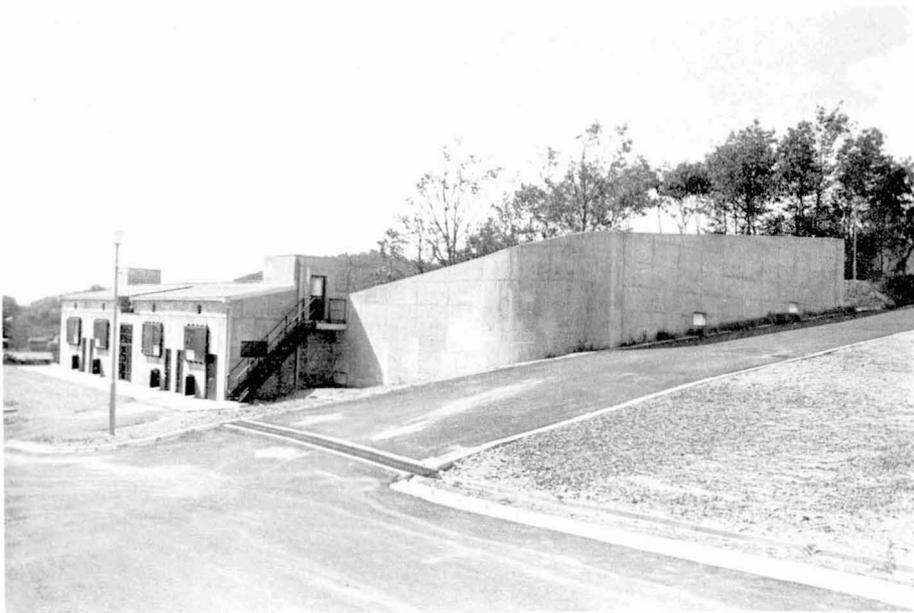
放飼実験場の内部



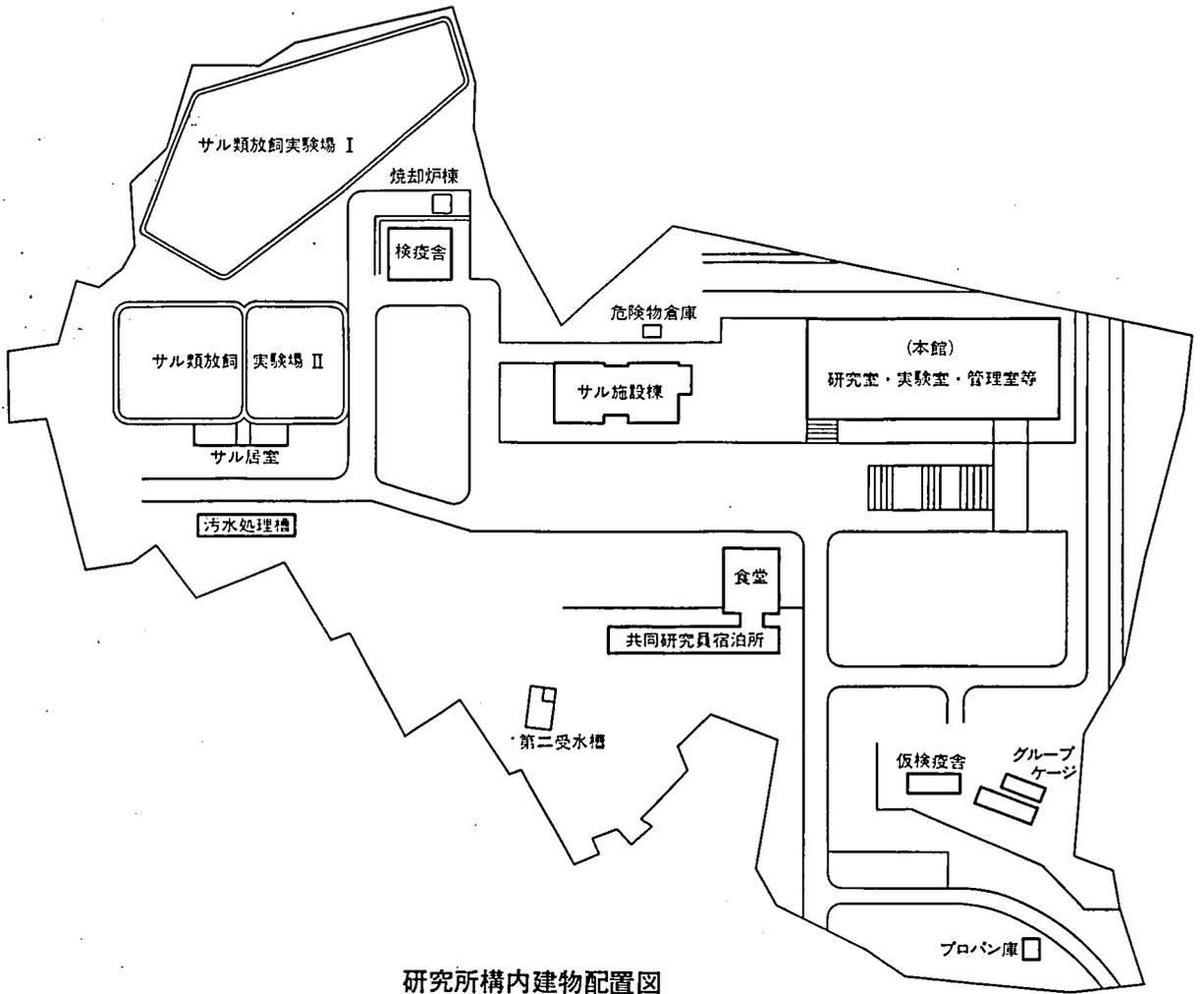
本館屋上より見たサル施設棟と放飼実験場



サ ル 施 設 棟



サ ル 類 放 飼 実 験 場 Ⅱ



研究所構内建物配置図

目 次

I 研究所の概要

1. 組 織	1
2. 予 算 概 況	1
3. 研 究 設 備	2
4. 研 究 活 動	3

II 総 説

— 霊長類学への展望 —

1. 心理学の立場から	室 伏 靖 子	14
2. 社会学の立場から	川 村 俊 蔵	18

III 共同利用研究

1. 概 要	21
2. 研 究 成 果	22
設 定 課 題	
a. ニホンザル個体群の総合的研究	22
b. ロコモーションとの関連における霊長類身性の比較形態学的研究	32
c. サルの生理学的適応能	33
d. 主としてニホンザルを対象とした行動の研究	39
自 由 課 題	43
3. 研 究 会	62

特 集

シンポジウム「ホミニゼーション」	67
------------------	----

特 集

シ ン ポ ジ ウ ム
ホ ミ ニ ゼ ー シ ョ ン

第2回ホミニゼーション研究会
(1972年1月12日～13日)より

目 次

Hominisation のもつ意味—序にかえて	江原昭善 (京大・霊長研)	67
I 系統・進化におけるヒト化の問題		
Hominid phylogeny as seen in the dentition	J. Kitahara-Frisch (上智大)	68
霊長類の系統進化からみた hominization	岩本光雄 (京大・霊長研)	70
<i>Australopithecus</i> 以後の編年と進化	渡辺直経 (東大・理)	73
II 生態学的にみたヒト化の問題		
霊長類の「社会進化」について	水原洋城 (日本モンキーセンター)	76
生息環境からみたヒト化の過程—ヒトの進化の過程でのサバンナの環境のはたした役割	鈴木 晃 (京大・霊長研)	77
ホミニゼーションからみた霊長類のハンマー使用行動の重要性と今後の問題	渡辺 仁 (東大・文)	80
III 言語の起源・心理からみたヒト化の問題		
行動にみられる霊長類のコミュニケーションの進化	森 明雄 (京大・理)	82
未開民族の心理 — ヘヤー・インディアンを中心に	原 ひろ子 (学習院大)	86
IV ヒト化現象の諸問題		
直立二足歩行の起源について—形態学的アプローチ	渡辺 毅 (京大・霊長研)	93
直立二足歩行の起源について—霊長類歩行における四肢運動様式および肢の床に及ぼす力の観察から	富田 守 (お茶の水女子大・家政)	95
家畜化とヒトの進化	江原昭善 (京大・霊長研)	100
ヒト化現象の諸問題総括	香原志勢 (立教大・一般教育)	102
V 総合討論総括	今西錦司 (岐阜大)	104

靈長類研究所年報 (1972) 正誤表

頁	行	正	誤
2	表内 下から 3	群	郡
2	左 下から 12	2 ch	10ch
2	右 下から 7	乾熱	乾勢
3	左 上から 2	F-3	E-2
3	左 下から 6	隆線系	降線系
4	左 下から 21	ニューロン	ニョーロン
4	右 下から 24	学会発表	学会発表
6	左 下から 13	abyssinicus	abrsinicus
6	左 下から 11	trogodytes	trygrodites
8	右 下から 9	gibbons	gobbons
10	右 上から 1	公文書	六文書
10	右 下から 11	都守牧夫	郵守牧夫
12	右 下から 14	ニホンザル	ニンザル
15	左 上から 4	taxonomy	taxonmy
16	右 上から 15	language	langnge
18	左 下から 11	立場	立的
19	右 下から 8	communication	commuhication
20	右 上から 21	種間	種間
33	右 上から 6	前脛骨筋	前脛骨
35	右 上から 6	登倉尋実	登倉尋美
38	左 上から 13	杉山幸八郎	杉山喜八郎
47	左 下から 17	aging	ageing
48	右 上から 2	解明	開明
49	左 下から 1~11	土壤	土壤
49	第 1 表 下から 3	灌木	權木
49	第 2 表 上から 1	土壤	土壤
50	第 3 表 上から 1	土壤	土壤
50	右 上から 10	M. splenius	M. splerius
50	右 上から 18	總會	統合
56	左 上から 12	stimulus enhancement か……	stimulus enhancement が……
57	左 上から 3,4	実験によって…食す…	験によって…食実す…
65	右 下から 18	社会関係	会社関係
66	右 下から 4	専門家	専門家

昭和 48 年 3 月 1 日 発行

発行所 京都大学 霊長類研究所
愛知県 犬山市 官林

編集 同研究所 出版委員会
大沢 清 小嶋 祥三
岡田 守彦 小山 直樹

印刷所 新美印刷株式会社 土倉九三
京都市北区小山西花池町1の8
大阪市天神橋筋1丁目102